

令和6年度
事業計画及び収支予算

一般財団法人
長岡花火財団

—目 次—

1. 令和6年度事業計画	2
2. 令和6年度収支予算	7

令和6年度 事業計画

一般財団法人長岡花火財団

令和6年度 事業計画

一般財団法人 長岡花火財団

2023長岡まつり大花火大会は、会場内のアルコール販売も再開し、コロナ禍後初のフルスペックの大花火大会となり、多くのお客様をお迎えし安全に開催できた。

2024長岡まつり大花火大会は、金曜、土曜開催となることから、より多くのお客様の来場が見込まれる。さらには、昨今の異常気象により猛暑も見込まれることから、厳重な雑踏対策、熱中症対策を施し、開催したいと考えている。

今年の中越大震災から20年の節目の年でもあり、1月に能登半島地震も発生した。

このような背景を受け令和6年度は、戦災・震災からの復興・慰霊のために打ち上げる長岡花火本来の意味を意識し、各事業を推進させる。

【事業の4本柱】

1. ～中越大震災から20年の想いを込めて～
絶対無事故・世界一マナーの良い大花火大会の企画・運営
2. 長岡の誇りを伝える活動の展開
3. 長岡花火ブランドの全国・世界発信
4. 組織力の強化

1. ～中越大震災から20年の想いを込めて～

絶対無事故・世界一マナーの良い大花火大会の企画・運営

「中越大震災から20年、戦災・震災からの復興・慰霊の想いを込めた花火大会の運営」「お客様の安全・安心を第一に、絶対無事故・世界一マナーの良い花火大会の運営」の2点をモットーに、市民はじめすべての花火観覧者に対して、開催当日の良識ある行動について昨年同様求めることとする。

(1) 安全対策の徹底

- 雑踏事故防止を徹底するために、引き続き会場内全席を有料観覧席とし、不特定多数の来場者を抑制する。また、席種や席配置などに応じて入退場時間を変えるなどの分散化も引き続き実施する。
- 前記などの雑踏対策、熱中症対策などを市民や観覧希望者などに向けて早期に周知し、必要な協力を求めることとする。

(2) 熱中症対策の方針

- これまでの対策に加え、有料自由席の指定席化やミストファンの増設など設備面、運用面の両面から日中の待機列軽減などの対策の強化を図る。

(3) 交通対策の推進

- 観覧希望者のニーズ変容に伴うマイカー来場者の増加を考慮し、「長岡花火駐車場シェアプロジェクト」を継続する。
- 金曜・土曜開催となることからチケットの所持を問わず多くの来訪者があると考え、公式駐車場をはじめとした駐車場の拡充に取り組む。特にシェア駐車場登録数の倍増を目指す。
- 警察や各交通関係機関と綿密な連携を図り、迷惑駐車や花火大会前後の交通渋滞に対する軽減策を講じる。
- 当日の交通情報が来訪者に正確に伝わるようこれまで以上に積極的な広報活動を展開する。

(4) 観覧席、チケット販売

- 物価高騰などによる花火大会運営費の増や観覧環境の改善のため、観覧席チケット価格を改定する。なお、長岡市民先行販売の価格は昨年から据え置きとする。
- 観覧客ニーズへの対応や熱中症対策として観覧席の仕様を一部変更する。具体的には、ベンチ式マス席の新設やエリア席の一部指定化を行い、観覧環境の向上を図る。
- 公式再販売の対応期間や方法の見直しを行い、チケット購入後に来場不可となった人の救済や不正転売の抑制を図る。

(5) 広報活動の強化

- 長岡花火公式アプリの機能拡充やタイムリーなスポットCMの活用を図り、観覧希望者への情報提供や注意喚起など届けたい情報をすばやく広報できる体制を構築する。
- 現在使用している広報媒体だけでなく、より有効的に情報を届けられるように広報手段と情報の精査および拡充を図る。
- JR東日本、東日本高速道路等と連携し、県外の駅や高速道路のサービスエリア等での広報を積極的に実施する。

(6) 長岡花火の進化に向けた取組み

- 長岡技術科学大学、産業技術総合研究所と共同で環境に配慮した花火の研究に取り組む。

2. 長岡の誇りを伝える活動の展開

(1) 情報発信拠点の利活用促進

- 「道の駅ながおか花火館」と連携し、長岡花火ミュージアムを活用し、特に未来を担う子ども達を対象とした普及啓発プログラムを作成・実施し、伝承活動を強化する。
- 「道の駅ながおか花火館」のドームシアターで放映する映像の更新(入替)をはじめ魅力あるコンテンツであり続けられるよう、長岡市及び施設指定管理者とともに取り組む。また、アオーレ長岡のシアターとも連携し、年間を通じた長岡花火の魅力・誇りを伝える拠点として活用する。

(2) 伝承活動の充実

- 長岡花火の歴史や想いを子どもたちに伝えるために、学校等を訪問し授業を積極的に実施する。
- 中越大震災から20年の節目の年に、改めて「長岡花火」や「復興祈願花火フェニックス」の意義を振り返り、次世代につないでいくため、NPO ネットワークフェニックスとの更なる連携を図る。
- 長岡花火伝承会と連携して、企業や団体など向けの講演、講義などを積極的に実施する。

(3) ボランティア活動を通じた人材育成

- 長岡花火の普及啓発活動や長岡まつり大花火大会での早朝清掃や通訳、フェニックス花火の募金活動などを通じて、長岡花火に率先して協力してもらえるボランティアの育成を図る（NPO ネットワークフェニックス等）。

3. 長岡花火ブランドの全国・世界発信

(1) 「長岡花火」打ち上げによる発信

《当財団主催事業》

● 長岡花火ウインターファンタジー

冬季の長岡花火の打ち上げ（8回目）。越後公園管理センターと連携し、冬場の観光資源としての定着を図る。

イベントの開催方法を見直し、持続可能な事業としての展開を目指す。

時期：令和6年11月下旬 会場：国営越後丘陵公園

《花火打ち上げ事業に参画》

● 長岡雪しか祭り

冬季の長岡花火の打ち上げ。長岡雪しか祭り実行委員会に参画し、長岡花火「雪花火」を打ち上げる。

「雪花火」では、打上げ希望者を募り、申込者のメッセージ（想い）を乗せて花火を打ち上げる。

時期：令和7年2月中旬 会場：ハイブ長岡ほか（花火は河川敷）

● ホノルルフェスティバル

海外での長岡花火の打ち上げ。長岡市の姉妹都市ホノルル市で開催されるホノルルフェスティバルの最終日に長岡花火を打ち上げる。

時期：令和7年3月中旬 会場：ホノルル市ワイキキビーチ

《「長岡花火」打ち上げを支援》

● 長岡花火ローズファンタジー

春季の長岡花火の打ち上げ。越後公園管理センターの主催で、年間を通じた長岡花火のプロモーションとして協力する。

時期：令和6年6月中旬 会場：国営越後丘陵公園

《花火に込められた想いを繋げる活動》

● 長岡花火の打ち上げサポート

花火の打ち上げによる地域活性化と「花火のまち長岡」を広く発信することを目的に長岡花火に込められた想いや物語を繋げると考えられるイベント等で打ち上げられる「花火」をサポートする。

(例)：おぐに夏まつり、寺泊港まつり海上大花火大会における花火の打ち上げ

(2) 知的財産権の有効活用

- 当財団所有の商標を有効活用し、長岡花火ブランドの知名度向上を図る。
(民間事業者の商品開発への協力、長岡花火公式グッズの製作など)
- 商標の意義を広める活動を推進し、地域全体で長岡花火ブランドを守り、高める気運を醸成する。

(3) インバウンドに対する取り組み

海外からのチケット購入希望者に対して、専用のホームページを作成しチケットの申込を受付ける。チケットの受け渡し、当日の案内などを、専門のチケットセンターを設置し対応することでインバウンド対策の強化を図る。

4. 組織力の強化

(1) 長岡花火応援企業・団体との連携強化

長岡花火オフィシャルパートナー企業などとの連携強化により、財団の運営体制の強化を図るとともに、日々の企業活動でも長岡花火を応援していただくことで、地域全体で長岡花火を盛り立ててもらおう機運を醸成する。

(2) 災害等のリスクへの対応

風水害等の不測の事態に備え「災害等対策基金」への積み立てを行う。

(3) 保険への加入（事故リスク対応）

- 大規模花火大会に対応した損害賠償保険
- 大花火大会の中止・延期に備えた興業中止保険
- 役員賠償責任保険団体制度
- 煙火消費が原因による人的・物的損害に対応する煙火消費保険
- 花火大会従事スタッフ及び清掃ボランティア対象の傷害保険

(4) 事業継続と新たな人材確保

各種事業内容の精査や修正の検証、事務の効率化を図る。また、地域おこし協力隊制度を活用し、健全で持続的な財団運営のための新たな人材確保に努める。

収支予算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

一般財団法人長岡花火財団

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	18,000	9,000	9,000
基本財産受取利息	18,000	9,000	9,000
特定資産運用益	1,000	1,000	0
特定資産受取利息	1,000	1,000	0
事業収益	1,219,612,000	861,869,000	357,743,000
観覧席販売収益	1,164,568,000	811,552,000	353,016,000
駐車場協力金収益	41,882,000	13,090,000	28,792,000
各種販売収益	8,468,000	10,475,000	▲ 2,007,000
各種賦課金収益	20,000	620,000	▲ 600,000
業務委託料収益	4,674,000	26,132,000	▲ 21,458,000
受取補助金等	70,672,000	69,982,000	690,000
受取長岡市派遣職員人件費補助金	70,672,000	69,982,000	690,000
その他補助金	0	0	0
受取寄付金	1,500,000	4,020,000	▲ 2,520,000
受取寄付金	1,500,000	4,020,000	▲ 2,520,000
受取協賛金	303,944,000	267,075,000	36,869,000
受取現金協賛金	63,000,000	56,000,000	7,000,000
受取広告協賛金	3,300,000	1,360,000	1,940,000
受取花火協賛金	223,794,000	192,715,000	31,079,000
受取フェニックス花火協賛金	7,000,000	10,000,000	▲ 3,000,000
受取その他協賛金	6,850,000	7,000,000	▲ 150,000
雑収益	485,000	382,000	103,000
受取利息	2,000	2,000	0
雑収益	483,000	380,000	103,000
経常収益計	1,596,232,000	1,203,338,000	392,894,000
(2) 経常費用			
大会運営事業費	1,329,166,000	993,776,000	335,390,000
花火打上事業費	278,184,000	251,231,000	26,953,000
会場設営事業費	452,708,000	387,555,000	65,153,000
安全対策事業費	238,702,000	169,990,000	68,712,000
交通対策事業費	124,071,000	52,180,000	71,891,000
観覧席販売事業費	201,758,000	96,420,000	105,338,000
寄付懇請事業費	11,910,000	10,890,000	1,020,000
受入体制強化事業費	21,833,000	25,510,000	▲ 3,677,000
普及啓発事業費	14,284,000	5,010,000	9,274,000
普及啓発事業費	5,000,000	0	5,000,000
伝承活動事業費	9,284,000	5,010,000	4,274,000
ブランド発信事業費	90,339,000	114,808,000	▲ 24,469,000
情報発信事業費	36,607,000	28,870,000	7,737,000
海外発信事業費	10,640,000	13,190,000	▲ 2,550,000
情報発信拠点事業費	17,475,000	11,699,000	5,776,000
長岡花火打上プロモーション事業費	25,617,000	61,049,000	▲ 35,432,000
その他プロモーション事業費	33,454,000	7,462,000	25,992,000

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
その他プロモーション事業費	33,454,000	7,462,000	25,992,000
管理費	125,259,000	159,608,000	▲ 34,349,000
人件費	91,255,000	81,742,000	9,513,000
施設費	12,731,000	18,451,000	▲ 5,720,000
その他管理費	21,273,000	59,415,000	▲ 38,142,000
経常費用計	1,592,502,000	1,280,664,000	311,838,000
評価損益等調整前当期経常増減額	3,730,000	▲ 77,326,000	81,056,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	3,730,000	▲ 77,326,000	81,056,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,730,000	▲ 77,326,000	81,056,000
一般正味財産期首残高	75,994,975	113,897,388	▲ 37,902,413
一般正味財産期末残高	79,724,975	36,571,388	43,153,587
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	35,000,000	35,000,000	0
指定正味財産期末残高	35,000,000	35,000,000	0
III 基金増減の部			
基金受入額	0	0	0
基金返還額	0	0	0
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	77,000,000	50,000,000	0
基金期末残高	77,000,000	50,000,000	0
IV 正味財産期末残高	191,724,975	121,571,388	70,153,587